

とやま棚田ネットワークから 会員の皆様へのお知らせ



会員数 359名（R8. 3現在）

■棚田保全活動報告

小矢部市宮島地区都市農村交流事業

宮島地区は、小矢部市北部に位置し、標高100～150mの急傾斜地に広がる棚田が特徴の地域です。人口は約380人で、小矢部市内15地区の中でも最も人口が少ない地域となっています。

これまで小矢部市、JAいなば、生活協同組合おおさかパルコープとの連携事業として、地域活性化を目的とした関西圏との交流イベント「ふるさと体験ツアー」を20年以上にわたり実施しています。本年度は、宮島地区で同ツアーを開催し、大きな成果を挙げました。

「ふるさと体験ツアー」では、生産者から消費者へと繋がる流れを実際に体験していただく内容となっており、春・秋の2回実施しました。参加者はサツマイモの植え付けや収穫をはじめ、地域で収穫された食材を使った調理体験や地産地消の食事会を通じて、農業の魅力や地域文化に触れる機会となりました。春は8組25名、秋は8組27名、延べ52名の参加がありました。参加者と地域住民の交流を深めることで、地域の活性化に大きな貢献ができたと感じています。

○春

サツマイモの定植体験



調理体験、食事会



○秋

サツマイモの収穫体験



調理体験、食事会



氷見市論田農業インターシップ

氷見市論田地区は、石川県との県境付近にある山あいの集落で市街地からは車で約15分のところにあります。当地区の特産は、「食彩ふるさと」の手づくりの「草もち」です。当地区も少子高齢化や過疎化が進行中であり、棚田の維持管理や交流人口、関係人口づくりが大きな課題となっています。持続的な農業と村づくりを目指して、何事にも積極的に取り組んでいます。

草刈り、野菜作り体験



東京農業大学との農業インターシップはその取組の一つで、8月23日から5日間、大学生が当地区に滞在し草刈りや野菜作り体験をはじめ、シソ加工品づくりや果樹園の手伝い、特産の草もち作りのほか、竹林整備や竹細工づくりを行い、交流会では大学伝統の大根踊りも披露され、大いに盛り上がり、地域の魅力について語り合いました。

インターシップでの交流は地域の住民と大学生双方にとって大変有意義な取り組みであり、今後も継続していく予定です。

竹林整備、交流会



氷見市熊無国指定重要無形民俗文化財「^{ふじみ}藤箕」づくり体験

氷見市熊無地区は、石川県羽咋方面に向かう国道415号線沿いにある県境にある山あいの集落で論田集落と隣接しています。地域の活性化を図るため、4月には地域内をめぐる人気の交流イベント「花の里くまなしウオーク」を開催しており、例年、地域外から多くの参加者が訪れます。また、県境付近には近隣の農産物などを直売する「お休み処くまなし」があり県内外から年間3万人の人が来訪しています。

当地区の特産は、600年の伝統を持つ国指定重要無形民俗文化財である「藤箕」です。少子高齢化により「藤箕」づくりに携わる住民が少なくなったことから、技術の伝承と後継者の育成を目的として「藤箕」づくり教室を開催しています。令和8年6月には、大阪・関西万博の農林水産省の「農林水産業と食文化の発展は世界をもっと豊かにつなぐ」をコンセプトに、「伝統をつなぐ」のブースで「論田・熊無の藤箕製作技術」として藤箕が展示され、国内外へ伝統文化を発信しました。

藤箕体験、万博での展示



■第30回全国棚田（千枚田）サミットが大分県で開催されました

第30回全国棚田（千枚田）サミットが、令和7年11月1日～2日にかけて、～棚田でウエル 想いと願いをコメて～をテーマに、大分県別府市にて開催され、全国から約1,000人の参加がありました。

今回の開催地、別府市は5箇所の棚田（天間棚田、堂面棚田、内成棚田、大所棚田、東山の棚田群）が「つなぐ棚田遺産」に選定されています。会場の別府国際コンベンションセンター前の芝生

広場では、棚田5箇所の棚田米の試食・販売やもちまきやステージイベントなども行われました。サミットの詳細は「とやま棚田ネットワーク」のホームページをご覧ください。次回、第31回全国棚田（千枚田）サミットは、静岡県浜松市にて令和8年11月14日～15日に開催予定です。



■赤かぶオーナー事業報告

今年度から「みんなで農作業の日」in 五箇山実行委員会（会長 上口長博）では、ご当地伝承の甘くておいしい赤かぶの収穫体験を「大収穫祭」として開催することになりました。

とやま棚田ネットワークではその収穫に合わせて、五箇山農業公社様のご協力により独自行事として9月7日に種まき、10月11日に間引き・草取り作業を実施し、会員およびご家族の皆様（13人）にご参加いただきました。

11月8日には「大収穫祭」に参加し、収穫作業を行いました。



種まき作業



大収穫祭 開会式



収穫作業

■第15回「とやまの農山村写真展」の開催

“守ろう！伝えよう！美しい農山村”をテーマに、令和7年6月～10月にかけて作品を募集し、県内外の皆様から一般の部89作品、ジュニアの部96作品、合わせて185作品の応募がありました。

四季折々の富山県内の美しい農山村の風景や、そこに暮らす人々、農業を営む人々などを写した応募作品の中から20点の優秀な作品を表彰するとともに、応募された全ての作品の展示会を開催しました。

令和8年2月6日(金)に行われた表彰式では、山森主税 富山県農林水産部次長の主催者挨拶に続いて、野崎 博 T P S富山県写真家協会会長から講評があり、その後各賞の受賞者に表彰状と副賞が授与されました。最後に受賞者を代表して、一般部門の最優秀賞を受賞された南部 勉様から挨拶があり、受賞作品の撮影時のエピソードや感謝の言葉が述べられました。

また、富山県民会館ギャラリーDにおいて2月6日から9日まで展示を行い、多くの皆様にご来場いただきました。



入賞作品は下記のとおりです。受賞作品については、県内交流施設等数力所にて巡回展示を行う予定です。

・入賞者一覧（20作品）敬称略

【富山県知事賞】 5点

- | | | | |
|--------|------|-------|-------------------|
| 一般部門 | 最優秀賞 | 南部 勉 | (南砺市) |
| | 優秀賞 | 水野 敬雄 | (立山町) |
| ジュニア部門 | 最優秀賞 | 大塚 晴菜 | (南砺市) |
| | 優秀賞 | 石崎 大輝 | (高岡市)、木下 友希 (高岡市) |

【富山県土地改良事業団体連合会長賞（棚田賞）】 3点

- | | | | |
|--------|-----|--------|-------------------|
| 一般部門 | 棚田賞 | 和泉 知英子 | (氷見市) |
| ジュニア部門 | 棚田賞 | 舘川 優衣 | (富山市)、酒井 希彩 (富山市) |

【とやま棚田ネットワーク会長賞（特別賞）】 12点

- | | | | |
|--------|-----|--------|--------------------------------|
| 一般部門 | 特別賞 | 寺尾 幹男 | (滋賀県草津市)、藤丸 正義 (富山市)、 |
| | | 甲田 恵津子 | (富山市)、黒田 俊之 (富山市)、 |
| | | 五島 はるみ | (富山市)、大石 和 (富山市) |
| ジュニア部門 | 特別賞 | 松井 紗妃 | (立山町)、河田 流我 (高岡市)、渡邊 宥大 (高岡市)、 |
| | | 梅田 晴弘 | (高岡市)、竹橋 七美 (高岡市)、戸田 智咲 (富山市) |

入賞作品は「とやま棚田ネットワーク」ホームページからもご覧になれます。



富山県知事賞

最優秀賞



▲「アーア！やっちゃった」

優秀賞



▲「月夜の四重奏」

富山県土地改良事業団体連合会長賞（棚田賞）



▲「楽しさも映し出す田んぼかな」

とやま棚田ネットワーク会長賞（特別賞）



▲「田植え」



▲「収穫日和」



▲「花から実へ 願いをこめて」



▲「花園に響く」



▲「ハレの日・晴れの日」



▲「舌は素直」

富山県知事賞

ジュニアの部

優秀賞



▲「夕焼け色に染まる稲穂」

最優秀賞



▲「青空と大切なお米」

優秀賞



▲「朝日と蓮の花」

富山県土地改良事業団体連合会長賞（棚田賞）



▲「やぎの里」



▲「ひまわり」

とやま棚田ネットワーク会長賞（特別賞）



▲「青緑」



▲「見守るかかし」



▲「田園を守る鷹」



▲「農山村のグラデーション」



▲「いつもありがとう」



▲「朝日に染まる
チューリップ畑」

県内の棚田オーナー制度情報（予定）

名称	1区画の面積と料金	募集区画等	概要	問い合わせ先
世界遺産五箇山棚田オーナー ●所在地／南砺市相倉 	シェアオーナー 一組 3万5千円	15組	世界遺産・相倉合掌造り集落の棚田で田植え、稲刈りなどが体験できる。そば・赤かぶオーナー制度もあり、秋の収穫祭には他のオーナーと楽しく交流できる。 ●特典／玄米 30 kg、温泉入浴券、相倉観光ガイド ●募集期間／3月1日～3月31日	平地域づくり協議会 ☎070-4436-0625
小野じゃがいもオーナー ●所在地／高岡市福岡町小野 	1区画 3千円	30区画	植え付け（4月5日）、収穫（7月上旬） 里山のきれいな空気と水、素晴らしい環境と風土の中で育ったじゃがいもは、格別のおいしさです。じゃがいもの植え付けと収穫を、地元の方と一緒にいきます。 ●特典／自分の区画でとれたじゃがいもを持ち帰り ●募集期間／3月1日～	小野自治会 自治会長 道徳さん ☎090-8704-5792
ハトムギオーナー ●所在地／氷見市細越 	100㎡ 2万円 （エコノミーコース 1万円）	20組	漢方薬や美肌効果のある食材として知られている「ハトムギ」の種まきや刈取り、脱穀などの農業体験が行えます。 また、勉強会やお茶づくり体験、オーナーと地元農家による交流会も実施しています。 ●特典／ハトムギ茶1年分、又はハトムギ商品詰め合せ ●募集期間／1月15日～4月30日	ハトムギオーナーの会 大平さん ☎0766-91-6541
棚田オーナー ●所在地／氷見市長坂 	1区画 3万5千円	約50組	田植え（4月第4土曜日）、稲刈り（9月第4土曜日） 「日本の棚田百選」や「つなぐ棚田遺産」に認定されている棚田で、立山連峰を一望しながら、田植えや稲刈りなどの農業体験が行えます。 ●特典／長坂産の玄米、地元特産品 ●募集期間／1月中旬～2月末	氷見市棚田保全推進会議 ☎0766-74-8086

※なお、ほかにも県内棚田地域で各種イベントが開催されています。詳しくはとやま棚田ネットワークHPを参照してください。

■問合せ先

- とやま棚田ネットワーク事務局：富山県土地改良事業団体連合会 総務課
 〒939-8214 富山市黒崎 17 TEL：076-424-3300 / FAX：076-424-3332
 E-mail：tanada@tomidoren.jp
 とやま棚田ネットワークホームページ → <https://www.tym-midori.net/tanada/tanada.htm>
- 富山県 農村振興課 都市農村交流係 TEL：076-444-3380 / FAX：076-444-4427